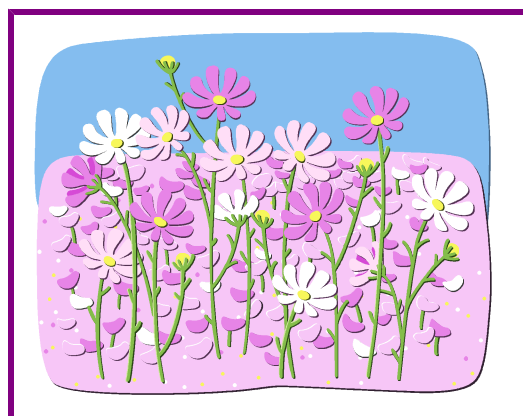


# めぐみイエス・キリスト教会

2020年9月27日(日) 第四主日礼拝  
週報「通算第525号」



## 2020年標題聖句

第 I テサロニケ5章16節～18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年9月27日 第四主日礼拝 午前10時  
司会 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌222「罪の深みに」 p. 336

【交読文】 No.59第Ⅰヨハネの手紙第4章抜粋 p. 927

【賛美Ⅱ】 新聖歌515「わが罪のために」 p. 819

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美No.16「神の都へ」

【聖書朗読】 使徒の働き5章12節～16節(2017新約p. 241上段)

【礼拝説教】 《前進する教会の落とし穴》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※聖書箇所(使徒の働き5章12節～16節)

5:12 さて、使徒たちの手により、多くのしるしと不思議が人々の間で行われた。皆は心を一つにしてソロモンの回廊にいた。

5:13 ほかに人たちはだれもあえて彼らの仲間に加わろうとはしなかったが、民は彼らを尊敬していた。

5:14 そして、主を信じる者たちはますます増え、男も女も大勢になった。

5:15 そしてついには、病人を大通りへ運び出し、寝台や寝床の上に寝かせて、ペテロが通りかかるときには、せめてその影だけでも、病人のだれかにかかるようにするほどになった。

5:16 また、エルサレム付近の町々から大勢の人が病人や汚れた霊に苦しめられている人々を連れて集まって来た。その人々は皆癒やされた。

## ●ポイント1. 多くのしるしと不思議とは？

### ※ヨハネの福音書14章12節～14節「主イエスの約束」(新約p.214左側)

14:12「まことに、まことに、あなたがたに言います。私を信じる者は、私が行くわざを行ない、さらに大きなわざを行ないます。私が父のもとに行くからです。

14:13 また私は、あなたがたが私の名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。父が子によって栄光をお受けになるためです。

14:14 あなたがたが、私の名によって何かを私に求めるなら、私がそれをしてあげます。」

## ●ポイント2. シモン・ペテロの失敗とは？

### ※ルカの福音書22章54節～62節「大祭司邸の庭」(新約p.168上段最初)

## ●ポイント3. 主イエスのしもべとして

### ※ルカの福音書17章7節～10節「主イエス様のお言葉」(新約p.153右側)

17:7「あなたがたのだれかのところに、畑を耕すか羊を飼うしもべがいて、そのしもべが野から帰って来たら、『さあ、こちらに来て、食事をしなさい』と言うのでしょうか。

17:8 むしろ、『私の夕食の用意をし、私が食べたり飲んだりする間、帯を締めて給仕しなさい。おまえはその後で食べたり飲んだりしなさい』と言うのではないのでしょうか。

17:9 しもべが命じられたことをしたからといって、主人はそのしもべに感謝するのでしょうか。

17:10 同じようにあなたがたも、自分に命じられたことをすべて行ったら、『私たちは取るに足りないしもべです。なすべきことをしただけです』と言いなさい。」

### ※ヤコブ書4章6節および10節「主の兄弟ヤコブの勧め」(新約p.462右側)

4:6 神は、さらに豊かな恵みを与えて下さる」と。それで、こう言われています。「神は高ぶる者には敵対し、へり下った者には恵みを与える。」

4:10 主の御前でへり下りなさい。そうすれば、主があなたがたを高く上げて下さいます。

## ◎先週のメッセージの概要【アナニアとサツピラ】

《多くの兄弟たちが加えられて、教会は大きくなりました。その為多くの費用が必要となりました。それゆえに、地所や家を所有している者はみな、それを売り、その代金を持って来て、使徒たちの足もとに置いたのです。

一見すると、これはとても美しい光景に見えますが、実は経済的には、まったく生産性がなく、金持ちが資金を売って食いつなぐだけなのです。

このような教会のあり方に、不安と疑問を持つ人たちも存在していました。そんな背景の中に「アナニアとサツピラ」の事件が起こったのです。

「アナニアという人は、妻のサツピラと共に土地を売り、妻も承知のういで、代金の一部を自分のために取っておき、一部だけを持って来て、使徒たちの足もとに置いた。」とあります。ペテロに、なぜそのことが分かったのかと言いますと、聖霊が彼に教えたのです。ペテロは質問します。

「アナニア。なぜあなたはサタンに心を奪われて聖霊を欺いたのか。」と。

この言葉を聞くと、アナニアはショック死を起こします。それから3時間後に妻のサツピラがやって来ます。彼女は夫の死をまだ知りません。

「あなたがたは地所をこの値段で売ったのか。」「はい、その値段です。」

「なぜあなたがたは、心を合わせて主の御霊を試みたのか。見なさい。あなたの夫を葬った人たちがやって来て、あなたを運び出すことになる。」

すると、即座に彼女はペテロの足もとに倒れて、息絶えるのです。多くの解釈は、罪を犯した為に、アナニアとサツピラは神に打たれたと主張します。本当にそうなのでしょうか。いいえ。この事件は、ペテロの失敗です。聖霊によって二人の罪が示された時、ペテロは兄弟愛を持って、彼らに悔い改めを促すべきでした。その機会さえ与えることなく、即座にペテロは裁いたのです。もし主イエス様が牧者であったとしたら、どのようにアナニアとサツピラを取り扱ったことでしょうか。愛を持って、二人を悔い改めに導いたに違いありません。そして、さらなる真実と言えば、アナニアとサツピラのこの罪の為に、主イエス様は十字架に掛かれたのです。》

## ◎お知らせ

※次回礼拝は、10月4日(日)教会にて行ないます。第二礼拝はありません。また、聖書の学びと祈り会は、水曜日に各家庭にて行ないます。